



菅家美千代
かんけーみちよ
熊本Emile Kスクール 代表取締役社長

1977年宮崎県都城市生まれ、幼稚園教師を経て、結婚を機に渡米。米国で出産し育児を経験し日本へ帰国。2000年に熊本市にインターナショナルスクール(幼稚園)を開園。その後、同市教育委員会等で学位研究員を7年間務める。2019年に保育と生涯学習を軸とするインターナショナル保育園を開設。子どもと大人の生涯を伴う施設づくりを目指している。

菊池裕葉・ブレインマックスピジネスコンサルタント。まずは菅家社長がインターナショナルスクール(幼稚園)を立ち上げようと思った経緯からお聞かせください。

菅家美千代・Emilee, Kスクール代表取締役社長。私はもともと幼保無双論として働いていたのですが、結婚を機に米国へ渡り、自身の出産と子育て

10年後をリードする 未来企業 86

熊本初のインターナショナルスクールを創設 「企業主導型保育園」の運営でさらに躍進!!

熊本市で初のインターナショナルスクール(幼稚園)を開園した熊Emile.kスクールの菅家美千代社長。現在は内閣府の認可を得て、こちらも同市初となる国際的なグローバル教育を軸とするインターナショナル保育園「Emile (エミル)」の運営に乗り出しているという。はたして、その立ち上げまでにはどのような経緯があったのだろうか。菅家社長の夢と思いに熊ブレインマックスの菊池裕葉氏がアプローチした。



ハロウィンやクリスマスと楽しいイベントも盛りだくさん

を達して成長の幼児教育にも興味を持つようになりました。そして、帰国後は自分の子どもをインターナショナルスクールに入れたいと思ったのですが、当時(2010年頃)熊本にはインターナショナルスクールがありませんでした。そこで「それなら自分でつくろう」と思い立ったのがきっかけです。起業して成功しようと思った志はありませんでした。ひたすら地道に取り組みつづけた結果、多くの人

援がなくて苦戦していますが、Emileeは内閣府の「企業主導型保育園事業」という認可制度の下で運営しており、行政の支援や指導を受けながら事業を展開しています。

菅池 現在ほどのような自慢E掲げていますか。

菅家 英語はあくまでもコミュニケーション上のツールであり、大切なのは子どもへの個性と能力をいかに伸ばすことかです。我々も大切にしています。とくに今のように変化が大きい時代においては、環境に柔軟に対応できるようなコミュニケーション能力と創造性が求められるので、そのあたりが重点を置いた教育に取り組んでいます。さらに保育者としての機能、じられる仕組みづくりにも取り組んでおり、家庭(この問題を)

任研究員として在籍しながら、いろいろな教育現場を見たり、さまざまな国の人たちとの交流を深めていたりするなかで、「子どもたちがグローバル社会のなかで日本人としてのアイデンティティを持ち、個性を發揮できるようにすること」も大切だと感じるようになりました。

折を待たず開園できた後は想像以上にニーズが大きくなり、急速に事業は拡大していききました。菊池 創業時に立ち上げたインターナショナルスクールを軸に熊本にも多くのスクールができましたね。ところで、2019年にはインターナショナル保育園の「Emilee」を開園していますが、この園の特色についてお聞かせください。



園内研修にも力を入れている

菅家 一般的にインターナショナルスクール(幼稚園・保育園)は自治体の認可外保育園設なのですが、Emileeは保育と教育の要素を兼ね備えた幼稚園「保育園」施設を併設し、「保育士配属基準」を満たしたうえで運営しています。また、多くのインターナショナルスクールは行政からの支

菅池 今後の目標や展望についてお聞かせください。

菅家 Emileeを子どもにとっても大人にとっても安心地のい場所にしていきたいと思っています。もちろん、そのためにはさらなる施設改善が必要ですが、たとえば、私がいなくてもきちんと運営を行える、自立的なシステムを構築しなければなりませんし、その一方でグローバル化に向けた新しい情報の収集にも力を入れ、内外や海外にも学びの場や交流拠点を増やしていかなければならないと考えています。



菊池裕葉
きくちゆうは
株式会社ブレインマックスピジネスコンサルタント

2015年にブレインマックス入社。会員サービス運用やCRMシステムの運用・改善、企業文化づくりなど多岐にわたる業務を統括、物怖じしないチャレンジ精神と柔軟な考え方で、虎胆に胆量との関係構築に役立ち、現在はビジネス推進で取り組める職務内容を比較し、サービス業務、満足度向上に力を注いでいる。

10年後のためのアドバイス!

菅家社長は熊本市内で初となるインターナショナルスクール(幼稚園)を開園し、それを発展させる形で内閣府認可の「企業主導型保育園」の運営に取り組んでいるエミルギッシュを経営者です。保育園では専門講師による英語教育に力を入れているのももちろん、英語をさまざまな成長を促すツールとして捉え、音楽、体操、水泳、ダンスなど、楽しく実践的なカリキュラムを数多く提供しているそうです。菅家社長によると、グローバル化とは「多様性を認め、異なる価値観や考えを尊重し合い、善悪はかならずしもひとつではないということを受け入れたうえで成り立つもの」とのこと。この保育園から輩立っていく子どもたちは、きっと素晴らしいグローバル人材になることでしょう。

菅池 保育園だけでなく、家庭や地域社会、さらには海外にも視野を広げているのですか。